

資本家、当局に成り代わって強制出向を推進する

日の丸掲げた鉄道労連解体！



87. 10. 14

No. 2677

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

第12回定期大会の成功に向け

日帝・中曽根の「戦後政治の総決算」攻撃の最大の目玉であった「国鉄改革」は、国鉄労働運動解体攻撃が、動労千葉、国労の戦闘的労働者の不屈の闘いで破産するという中で、中曽根・当局の最悪の先兵となりきった鉄道労連革マルは、ついに日の丸掲げた労働運動に新型産業報国会運動を積極的に推進し、戦争への道を率先して掃き清めているのである。絶対に許すことはできない。鉄道労連解体の圧倒的方針をかちとろう！

『世界日報』登場で 完全なファシストに純化

これまで、鉄道労連革マル・松崎は、二月二四日、七月十四日と二度右翼勝共連合の機関紙『世界日報』に登場して勝共連合との同盟を誓い、ファシスト労働運動への純化をうけてきた。一度目は、「核に賛成。安保・自衛隊に前向き。東洋思想（天皇制）はいい。ストをさせない。これは私の使命感」と叫び、「四・一」強行前に、なんとしても動労千葉、国労を破壊しようとした。しかし、「四・一」後も動労千葉、国労が不屈に闘いぬく中で、七月一日、鉄道労連の一角であった鉄労が「松崎は革マルだ」との一点で鉄道労連を脱退するという事態が発生、当局のテコ入れで「復縁」したものの、そのキレツは深まるばかりであった。

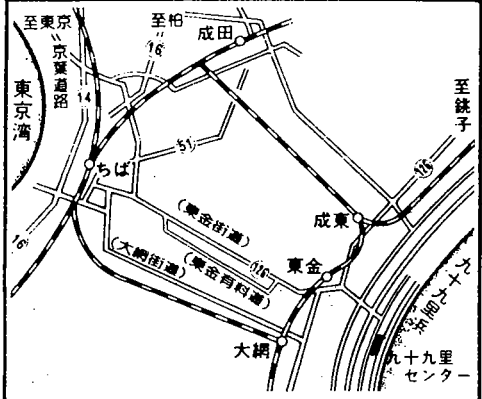
戦前の歴史を見てもそのことははっきりしている。日本の「産業報国会」をはじめ、ナチスの「ドイツ労働戦線」、ムッソリーニの「協調組合」これらはいずれも階級闘争絶滅、スト圧殺、権利剝奪のうえに、生産性向上と軍需生産に突進した。そして、行きついた先は戦争だったのである。鉄道労連革マルは、まさに戦争への道を掃き清めているのである。

鉄道労連を解体する以外に 労働者の未来はない

このように鉄道労連の危機が深まる中で革マル松崎は、再度、『世界日報』に登場した。戦前の歴史を見てもそのことははっきりしている。日本の「産業報国会」をはじめ、ナチスの「ドイツ労働戦線」、ムッソリーニの「協調組合」これらはいずれも階級闘争絶滅、スト圧殺、権資本や当局に成り代わって強行しようというのだ。そして、闘う国鉄労働者を強制出向で叩き出し、動労千葉、国労を破壊して一気に戦争へ突進しようというのである。

戦後労働運動解体を宣言

この中で松崎は、「国旗（日の丸）を掲げないのはおかしい」と言うにいたり、完全に天皇制に屈服した。その上で日の丸掲げた労働運動に新型産業報国会運動を展開し、日帝・中曽根の「戦後政治の総決算」攻撃の一環である戦後労働運動の解体・一掃のために、その先兵ファシストとして立ち動くことを宣言したのである。このように、伝統ある動輪旗を放棄して日の丸



大会会場および日程について

会場 国民宿舎

九十九里センター

日程 10月16日、10時開会

17日、17時まで

※なお、17日13時から、
動労総連合第2回大会です

- 交通のご案内
- ◆外房線大網駅から——
小湊鉄道バス九十九里センター行終点(35分)
 - ◆東金線東金駅から——
九十九里鉄道バス九十九里センター行終点(30分)

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！